

## 大積神楽 (おおつみかぐら)

毎年11月3日夜、大積・天疫神社の秋の祭礼に奉納される神楽です。現在行われているものは、大正10年頃、氏子が赤幡神楽(福岡県築城町)から習得して復活したものです。

かつては神楽本来の形式である33番の演目を持っていましたが、現在は「米撒き、折居、御福」の舞神楽、「地割、御先、四方鬼、岩戸神楽」の面神楽の7番のみを演じています。

